

# おらんくの朝獲れの魚買うとせ!

～ 県漁連の直販所「魚いち」が好調～

高知県海洋局

# かつお通信

高知市丸の内  
高知県海洋局  
発行人 久保田寿一  
編集人 海洋企画課  
定 価 無料

昨年の十二月に高知県漁連が初めて開設した常設の直販店「魚いち(うおいち)」が好調です。県内の各漁協から直接仕入れた朝獲れの魚を中心に、塩干品や姿寿司なども取り揃え、客足も順調。近隣の居酒屋など業務筋にも配達を始めるなどサービスも向上し、徐々に売り上げも伸びています。  
今回は、好調な「魚いち」の状況と併せて、県漁連が直販に踏み出した経緯や、水産物流通の現状の一端をご紹介します。



所在地など詳しい情報は...  
<http://www.jf-net.ne.jp/kogyoren/index.htm>

県漁連は一昨年、水産会館前の駐車場の一角にテントを構え、店頭販売を開始しました。冷蔵庫もなく、週一回の販売でしたが、口コミで噂が広がり、日に十数万円前後の安定した売り上げとなったことから、販売日を週三日に拡大し、さらに、常設店舗での販売となりました。

## 盛況ぶり!

約四十平方メートルの店内には、三台の冷蔵ショーケースに朝獲れのカツオ、キンメ、清水サバなどが所狭しと並び、また、各地域自慢のすり身や天ぷら、ちりめんしゃこなども揃っています。特に、清水からの魚が到着する午後四時頃には常連客が次々に訪れ、魚を並べる暇もなく、飛ぶように



接客では浜の情報を織り交ぜながら...

# 海の資源を守りましょう 資源管理型漁業を進めましょう 漁業秩序を守りましょう

に売れていきます。人気は、活魚の清水サバ、カツオ、タチウオなどで市価の二〜三割安。また鮮度は折り紙付き。居酒屋や料亭も仕入れ先を変えてくれたほどです。

## 魚価向上のために

「魚を売り買ひすることは初めてで苦労は多かった」と話す佐竹店長。スーパーの元店長に魚の並べ方や集客の仕方を学び、一つ一つ改善していくことで、今では、店舗販売と居酒屋などへの配達で一日平均一五万円以上を売り上げるまでに成長しています。



当日の入荷状況を知らせる看板

## 販売事業の難しさ

県漁連は、各浜からの「魚」の低迷を何とかして欲しいとの強い要望を受け、一昨年、県の補助事業などを活用し、土佐清水市場に参入、高知市や県外への販売を開始しました。



店長の包丁さばきは既にプロ級!?

これにより、土佐清水市場での浜値の向上は見られたものの、県外市場での新規参入者に対する圧力などにより、計画通りの販売を達成することができませんでした。このため、採算性の高い一

朝獲れゆえの台風時期の品薄や旧態依然とした商慣行の壁、現体制での取扱量の限界など、課題は多々あるようですが、取扱量は今は少ないが、将来には規模を拡大し、何とか県内の魚価向上につなげたいと佐竹店長は熱い思いを語ってくれました。漁業者の最も強い要望である魚価向上と、消費者の望む安全、安心な「土佐の魚」の提供のため、大いなる飛躍を期待しています。

## 漁業経営のことなら、今すぐお電話を!

専門アドバイザーが、漁業経営、流通改善について無料でご相談に応じます。まずはお電話を!



漁業経営指導協会 tel088-825-3980  
上原アドバイザー tel090-1570-1904

## 【コラム】

### 「流通を持つ強み」

同じ県でも農業と水産業では流通の形態が全く異なる。野菜は果園芸連が販売(約六百億円)を一手に担っており、その影響力は絶大だ。統一ブランドで販売できるメリットや、高い市場シェアによる価格形成力が見逃すことは出来ない。ただし、各出荷場で規格厳守やクレームへの適正な対処の努力があつてこそ維持されているものだから、県漁連が水産の園芸連にたる日を期待する。

【編集後記】  
物を買うため企業はあの手の手。TVアニメの後のMバーガーのCMなどはその典型。「お父さんお昼はハンバーガーにしよう!」甘いお父さんはイヤとは言えず...。将を射んとすればやはり馬からか?